

サウジアラビア*

国際動向・戦略分析グループ 主任研究員 小林 良和**

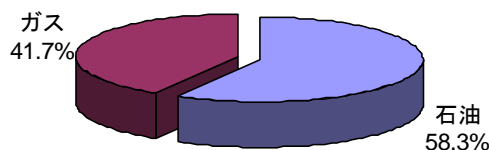
1. サマリー

1. エネルギー事情

サウジアラビアの 2006 年の石油生産量は世界の生産量の 10.5% (893 万 B/D) を占め、2006 年末時点での石油埋蔵量も 2,643 億バレルで世界の 21.9% を占める。またサウジアラビアは世界最大の余剰生産能力を保有し (175 万 B/D、07 年 12 月時点)、それを活用することによって国際石油市場に大きな影響を及ぼしている。

- (1) 一次エネルギー供給量 158.9 石油換算百万トン (06 年、日本の 30.5%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 6.1 石油換算百万トン (05 年、日本の約 1.5 倍)
- (3) エネルギー自給率 100% (05 年)
- (4) エネルギー起源 CO2 排出量 319.68 百万トン (05 年)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量 13.83 トン (05 年)
- (6) エネルギー源別可採年数： 原油 66.7 年、天然ガス 96.0 年、石炭 N/A (生産なし)
- (7) 原油生産量 893 万 B/D (06 年実績)、原油生産能力 1,080 万 B/D (07 年 7 月時点)
石油輸出量 885 万 B/D (06 年実績、NGL 含)、天然ガス生産量 737 億 m³ (06 年実績)

一次エネルギー供給構成 (2006 年)



(出所) BP 統計 2007 年版

2. エネルギー政策のポイント

エネルギー政策担当機関

- ① 石油・鉱物資源問題最高評議会 (SCPM、議長は国王)：石油・天然ガス・鉱物資源政策全般を司り、国営石油会社サウジアラムコの全般的な経営方針策定の最終決定権を有する。また石油以外の分野での外国企業との契約締結権限も保有する。
- ② 石油・鉱物資源省：石油・天然ガス、その他鉱物資源に関連した政策を策定し、サウジアラムコを始めとするこの分野における国営企業の監督に当たる。
- ③ サウジアラムコ：石油・天然ガスの開発、生産から精製・販売までの操業を行う。

● 基本政策

国家財政の大半を石油収入に依存しているため、国家財政安定のために適切な石油価格の維持を目指している。高すぎる石油価格は需要の後退、代替エネルギーの開発促進などを引き起こすため、一貫して石油価格の安定化に向けた取り組みを進めている。自国産石油と天然ガスの国際市場における競争を回避するために、原油・石油製品の輸出を優先し、天然ガスは全量国内で消費する方針をとっている。

*平成 19 年度に経済産業省資源エネルギー庁より受託して実施した受託研究の一部である。この度、経済産業省の許可を得て公表できることとなった。経済産業省関係者のご理解・ご協力に謝意を表すものである。

**現在、石油・ガス戦略グループ リーダー

● 最近の動向

増大する世界の石油需要を満たすため、サウジアラビアは 150～200 万 B/D の余剰生産能力を維持することを重要な政策目標としており、2009 年までに 1,250 万 B/D の生産能力を達成すべく能力増強を進めている。また増大する国内のガス需要を満たすため、国内でのガス供給能力増強についても積極的に取り組んでいる。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- (1) サウジアラビアは我が国の最大の原油輸入先 (126 万 B/D、シェア 29.1%、2006 年)。
- (2) 2005 年 8 月、住友化学とサウジアラムコは合弁会社の設立を発表 (総額約 80 億ドル、出資比率 50 : 50)。既存のラービグ製油所 (40 万 B/D) の設備高度化と大規模石化装置 (エチレン生産能力 130 万トン/年) を現在建設中である。2008 年後半に完成予定。
- (3) シェルグループは、保有していた昭和シェル石油の株式 50%のうち 15%弱をサウジアラムコへ売却した (2004 年 7 月に 9.66%、2005 年 6 月に 4.99%を売却)。
- 1) (4) 2007 年 4 月、安倍首相がサウジアラビアを訪問し、アブダッラー国王と会談。石油の売買だけにとどまらない重層的な関係強化を進めることで合意した。

2. 主要エネルギー指標

(1)	一次エネルギー供給量 (06 年)	158.9 石油換算百万トン	
(2)	1 人当り一次エネルギー供給量 (05 年)	6.07 石油換算トン/人	
(3)	GDP 当り一次エネルギー供給量 (05 年)	0.61 石油換算トン/千ドル	
(4)	エネルギー自給率 (05 年)	100%	
(5)	エネルギー起源CO ₂ 排出量 (05 年)	319.68CO ₂ 百万トン	
(6)	1 人当りエネルギー起源CO ₂ 排出量 (05 年)	13.83 CO ₂ トン/人	
(7)	一次エネルギー供給構成 (06 年)	石炭	0%
		石油	58.3%
		ガス	41.7%
		原子力	0%
		水力	0%
	再生可能エネルギー等	0%	
(8)	エネルギーの輸入依存度 (05 年)	-309.5%	
(9)	石油の輸入依存度 (05 年)	-486.8%	
(10)	輸入原油の中東依存度	該当数値なし	
(11)	原油輸出先 (06 年)	1 位 米国	
		2 位 日本	
		3 位 韓国	

(出所) (1)と(7)は「BP 統計 2007 年版」; (2)～(4)および(8)～(9)は IEA、「Energy Balances of Non-OECD Countries 2004-2005 (2007 年版)」。(5)および(6)は IEA、「CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2004-2005 (2007 年版)」。(10)～(11)は各種統計資料。